

國第一回參議院農林委員會會議錄第九號

急な要務で出席できないのであります。が、その代りに、その代りと云つては語弊がありますが、種苗についてではなくては常に詳しい村田特産課長、並びにラヂオ等で始終お馴染みの加藤技官もお見えになつておりますが、これは併しこそで、御質疑等に對して、説明員がお答えできるように預め御了承をお願いして置きたいと思います。審議には事缺かさず行けると思ひますので、どうぞその點を御了承願いたいと思います。それでは只今から、農林大臣より農産種苗法の提案理由の御説明を伺うことになります。

○國務大臣(平野力三君) 農産種苗法の提案の理由を御説明申上げたいと思ひます。

等の海外輸出の振興にも相當役立つことが期待されると思うのであります。この法律は各種の作物の栽培に使用される種子や、球根、苗、苗木、或いは採種のために使われる母本とか、苗木を仕立てるための穂木や、だい木等にも適用されるよう規定しておるのをごさいますが、實際には普通に取引されるところの蔬菜種子、果樹苗木その他の販賣種苗が対象となり、その種類は農林大臣が指定することになります。

何人でも自由に種苗の販賣業者となることができるのですから、その営業所ごとに地元の市町村長に届け出で、市町村長はこれを農林大臣に報告しなければならないことといたしまして。これは後の規定によりますところの種苗の取締上の必要に基づくものであります。元来農業生産の根本である種苗を取扱う種苗業者としては、種苗の販賣に當つて、十分責任あるやり方をしなければならないことは當然でありますので、その趣旨によつたのでござります。

次に種苗業者が種苗を販賣する場合には、必ず種苗の品種名、生産地、生産年月、發芽率等、種苗の品質に關する表示、即ち保證票の添付を行わせ、これに對して農林省に種苗検査所を設けまして、故意に不正な表示をして需要者に損害を及ぼすことのないよう種苗の検査取締を行い、需要者が安心して種苗を購入使用できるようにいたしましたのでござります。

次にこの法律として前項の不正種苗の取締を行ふ半面優秀なる新品種、新系統の種苗の育成を推進するためにその育成者の名譽を推賞し、その利益を

大臣に出席いたしました。種苗の名稱登録の登録するよう、これの育成者は農林省に登録を受けた者及びその者から許諾を受けた者でなければ種苗として販賣できないこととして、その販賣について一つの保證を與えておるのであります。

以上が大體ここに提案いたしました農産種苗法の大體の内容でござります。何とぞ十分御審議の上御可決あらんことを希望する次第でござります。

○委員長(楠見義男君) それではこれから質疑に入りたいと思いますので、どうぞ……。尙どうでしようか配布された中で、種苗検査機構の概要といふ一枚の紙がござりますが、或いは御質疑の前に御説明を伺つたらどうかと思ひますか……。

「異議なし」「賛成」と呼ぶ者あり

○委員長(楠見義男君) それでは村田特産課長から御説明願います。

○説明員(村田耕郎君) 植物検査機構の概要を御説明申上げます。これはこの臨時議會におきまして別途追加豫算として二百四十六萬八千圓の豫算を御審議願うことになつておるのであります。國の經費を以ちまして種苗の検査をいたすわけであります。その經費の大部は検査所の費用でございまして、本所を一ヶ所、支所を三ヶ所置きまして、そろしてこれに検査員を配置する。尙その外主張生産縣に對しては、縣にも検査員技官を置きまして、尙各縣に普通臨時検査員の嘱託員を置いて、ということになつておるわけでござります。そうしてその農林省の種苗検査員というものは隨時出廻りまして、

が指定されることになつております。大體検査される種苗は農林大臣が、結局それらについては保證票がつくわけござりますから、その保證票に間違がないかどうかということを検査いたしまして、間違があるような場合は、これの訂正を命ぜるというような指導も加えて行くわけであります。甚だ簡単でございますが、検査の機構ということについて御説明を終ります。

それから尙ほこの核算につきましては、實は新營業等は計上してございませんので、これは本省、農林省の園藝試驗場に併設しまして、新らしく建物を建てたりなんとするよなことは節約して、人員だけを充實して行きたい。こういふふうに考えております。

○羽生三十九 ちょっとお尋ねしたいと思うのですが、一つは、この提案説明にある、つまり優秀な新品種、新系統の種苗の育成を推進するためその育成者の名譽を推賞し、その利益を擁護するよう、これらの育成者に何らかの方法を講ずるようになりますが、固より新品種を鑑見したり、國良な種苗によつて農産物に貢献するということ是非常によいことでありますので、これを保護助成するようなことは固より當然であります。曾て我が國においては、農業の公開といふことが可なりあるのであります。つまり特定の人が最も優れた研究を獨占して、他のものがこれを利用することを阻むような場合があることを想定して、いわゆる農業の公開といふことが言われたのでありますが、まあ外の化

學工業などと違ひまして、種苗等には、そういう例は殆どないと思いますが、一面においてはその名譽なり、或いはその農産物に對する貢獻を推奨、助長すると共に、他面においてそれが餘り獨占的になつて、その人の許可を得なければどうにもならんといふようなことが、弊害を伴わない程度にやつて頂きたいと、こういうふうに思うのが一つと、もう一つお尋ねしたいことは、つまり種を検査する場合に恐らくその場合、その結果を當該種苗の購買者がその結果を表す場合は、少くとも半年なり一年の後であります。が、その場合、一部分の種苗に検査を適用され、他を全部それから推して量るとか、その邊はどういうふうな扱いをされるのでありますか、ちよつとお尋ねいたしたい。

○説明員(村田朝郎君) 第二番目の問題でございますが、これは拔取検査をするという建前になつておりますので、それを一般にできるだけ利用するようになつたいたい積りでありますから、その點は御心配のないよう願いたいと思います。

○説明員(村田朝郎君) 第二番目の問題でございますが、これは拔取検査をやるという建前になつておりますので、それを實際扱われるのは販賣種苗の中の一部分になるわけであります。ただその業者として種苗の販賣を業としようとするものが、帳簿を備え附けることということが出ておりますので、それでその帳簿によりまして同一な不正な種が、どの程度あるかということの推定が大凡つくわけであります。その場合は一つその販賣を停止いたして置きまして、果してそれが不正なものであるかどうかという判定が確實になりました場合はその訂正を命ずるか、或いは販賣の禁止を命ずるかというふうになるわけであります。で検査は、抜取でございますが、その帳簿によりまして、それに同一の不正種苗がある場合は、これも停止、或いは訂正を命ずるということができるわけであります。

○羽生三七君 それに關聯してもう一つお尋ねしたいことは、つまり種で検査する場合にこれはよく分りますが、その種をその種の作成者が播いて、それを種苗にして、外に賣る場合に、實際問題として個々の農家、例えば私の地方に非常に澤山な人が、例えばうり「なす」、トマト等の苗を賣つておるわけであります。ところが個々の農家において種ばかりでなく、種苗も檢査されるわけであります。

○説明員(加藤要君) 只今のお話の點

は「なす」「ならば」「なす」「きうり」なるば
「きうり」の種を種苗業者が得られまし
て、それを苗を仕立てて販賣する場合
と、販賣業者が更にその種を使つてこ
れを苗として仕立てて販賣するような問題
があるのでござりますが、さような場合
はまあ大體におきまして前の種を取
替ることによつて後の苗に對する取締
が可成りでありますと考えております。從
つてその苗を澤山の苗業者が澤山があつ
た場合にはその苗の組合で種を仕入れ
る場合に、豫めその種が良いかどうか
どうことを調べまして、若し必要が
あれば種苗検査所に要求してそれを調
べて貰つて、良い種を使ふように指導
するといふようなことによりまして不
良種苗が賣られることを防ぐことがで
きるのではないかと思つております。

くその業者が從來或いは毎年良い苗を賣る業者であるかどうかということをつきりさせることによつて、業者がそれを選ぶ、又はそれを判断するヒントを與えることによつて、目的が達せられるものと思ひます。

○木橋三郎君 ちょっととお伺いいたします。先程御説明になりました種苗検査所、支所三、これは本法によつて二百四十八萬六千圓をする。それは殆ど人事費にお使いにならるようであります。が、その役所は新築しない、ということになると、役所はどこに置くのであるかということを伺いたい。今一つ新たにこれだけの技術官、或いは技術師を御新たに用になる。それは純然たる民間の指導の人を擧げるのであるか。今日農林省の関係でお使いになつておる人を新たに轉用するのであるか、その點をお伺いしたいのです。それと今一つは從來種苗というよろなものの取締りはどういうふうにやつておつたか。私ども農家でありますしても餘り詳しくよく知らない。從來の種苗の取り締り方をお伺いいたしたい。

○政府委員(井上良次君) 三點御質問がございましたが、第一の種苗検査所は一體二百四十八萬六千圓の豫算をしておるのでですが、この經費は主として人件費に使われるらしいが、建物はどうするかという御質問のように伺いましたが、建物は國の園藝試驗場を子壇充當したいと考えております。(そこれからその次の、第二點の、これらの検査場員、技術員はどうするかという御質問を聞いてござりますが、これは別に政府の現在任用いたしておりますとの事で、技術官のみならず、民間側に有識な技術者がおりますならば、これも

をいたしててもよろしいし、又任官をしてもらいたいと考えております。又その件は地方公共團體にも立派な方がありますから、ならば、嘱託をお願いし、又進んで地方官に任用してもいいと考えておる次第であります。それから第三番目は、來一體國としてこれらの種苗に對する取締等はどうしておつたか、こういふことを尋ねのないように伺いましたが、從來は國として正式にそういうものを取締つたことがないであります。全く時的なやり方で、今日まで參つておるというわけで、いろいろ弊害がござりますので、今度この法律を皆さんに御審議願うようになつたわけです。

ござりますが、この役人の方は大體政府の役人をそのまま使いたい。それからその他の方は最前申上げました通り有能な方々を要請いたしましたしてこれら各縣の場合では、農事試験場を大體利用したい。こういうつもりであります。

○河井彌八君 一條に、農林大臣の指定するもの、農林大臣の指定する種類とあります。どいうものを指定されるか、それを伺いたい。

○政府委員(井上良次君) 第一條に農林大臣が指定しようとします種類は菜、果實を大體中軸にいたしまして、「だいこん」「かぶ」「にんじん」「じりょう」「里芋、結球白菜、蕪、甘藍」れんそう、「ねぎ」「たまねぎ」「ます」「トマト」「きゅうり」「かぼちゃ」「いんげん」「えんどう」「そらまめ」「すいか」「まくわらり」「しるりり」「チシャ」「ぶだんそう」「それがら質につきましては、柑橘、「りんご」「な」「かき」「ぶどう」「ぶつめ」「なも」等を行いたいと考えております。

○河井彌八君 この法律は主として規制を目的とするようと考えられるのですが、優良なる品種を作り出す方法について政府はどういう方策をとつておられますか。それを伺いたい。

○説明員(村田綱郎君) 今年度から農業試験場を擴充いたしまして、本場は平塚の郊外にあります元の海軍火薬庫跡に移しまして、そこを園藝試験場いたすことになつております。それから興津の今までの園藝試験場の本場は公開支場とすることにいたします。その他九州にも九州支場、東北支場はからあつたわけであります。そういうふうに、一本場三支場という形で擴

いたしまして、そこで基本的な品種改良を行なつて、それから専全国に七所の農業改良試験場、前は指定試験場と實つておりましたが、それに蔬菜研究の面を設けまして、全國で七ヶ所でござりますが、そこで更に地方的品種改良、栽培法改良の研究を進めます。尙ほの外に各縣に原種圃の、これは補助金であります。原種圃の補助を下附いたしまして、優良種苗の原種の増殖をいたさせまして、これを二種種の方に流して行く。こういう形取つておるわけであります。國の品種改良に對する施設といたしましては概略左様な方法を以てやつてゐるわあります。

○河井彌八君 只今の施設を以てすれば、いつ頃から有效な效果が現れるか。相當な年月を要するのでありますか。

○説明員(村田堀郎君) これは御説通りでございまして、品種改良といふものもなかなか簡単に參りませんで、いつ頃から效果が現われるといふことを、確實に申上げるわけに参りませんのであります。ただ一代雜種の利用と「うとうな點で、それから又えば支那の「きみり」の原種で四葉「スヨー」というものがござります。そういうものの種を内地に持つて来て、非常に優秀な物を殖やしてやるといふようなことをやつております。そういうふらへ行きますと、もう既に本年等にいたしました四葉なんかの種苗が非常に澤山出ているようになります。新しい外國種の輸入等は直ちに效果が出て参るわけであります。品種改良にましても交配を始めて選抜を繰り返していくというようなことになりますと

す。で、篠農家の或系統を多年選別してそれを農家に委託生産をして販賣する。おるような場合には、その篠農家の持つておる特殊の系統がある。又多少異なる。いすれも練馬大根であるけれども、それらの系統の良否によつての栽培上の效果が著じるしく違つわけである。而も又これはこれらの品種にしろ、或は同一品種の中の系統にしろ、栽培をする地方によつて、又時期によつてその品種の價値が違つて来るわけです。例えばいたずらに大きくなる大根を作れば、それが、市場價値があるというわけには行かんのである。市場に對する供給の關係、供給の時期との關係、又それを農業經營上に入め込む栽培の期間の關係、それが今度作になにを作るか、後作との關係等によつて、品種の優良性といふものが、米や麥の場合でもかなり複雑であります。が、蔬菜の場合においては、それぞれうまく適合する場面々々があるわけであります。どの品種が一番いいと例えば「だいこん」なら「だいこん」たゞ、或いは「だいこん」の中の練馬ではどの系統が一番良いということは、絶對的のことと言えないのです。

栽培試験によつてこれをどこかの検査所で行つといつても、これは米や麥のよな場合は、栽培の期間、方法等がほぼ決まつておりますから、多少試験ができるけれども、蔬菜になりますと、それらの點が非常に複雑であります。どんな立派な専門家の審査委員を何人集めても、その委員の見識や學識を技術だけによつて決定するものじやなくして、栽培上、農業經營

實際上不可能である。併しながら種と
しては、露芽歩合の如きは擲いて見れば
わかる、直ぐにわかるのでありますと
いふと、そう簡単にはわからん、又優
劣をわかつても、優劣のどれがいいの
だといふことを、決定的にはできな
い。それ故にこの蔬菜等については、
外國においても、種苗検査といふもの
は、技術的には成り立つてないと思
う。外國で種苗検査といふのは、非常
にやかましく、古くから存在しておれ
ますが、それは主として牧草のような
もの、それから外國では、米麥、米は
ありませんけれども、「とうもろこし」
や小麥等も販賣種になりますからし
て、これも露芽歩合を、そして外國
の農業經營では、種物を買いますか
ら、これは種苗検査の対象になる。そ
の場合の検査事項は、主として露芽歩
合である、或いは大きくなる品種の特
性というようなことは、そういう機
械的には觸れ得ざるものである。それ
故に長くこの種苗検査についての重要
性を唱えられながら、今までこの機
構ができるに至つたわけであります
。にも拘わらず、ここに今政府がこ
ういう種苗検査所を作らうと、殊に大
根とか、それらの蔬菜等について指定
しておられます。このむつかしい技術上の
問題をどうして處理せんとするか。又こ
の苗木類、この苗木の品種の検定等も
これに果樹の種類によりますと、苗(以
て直ぐ細かい特長がありまして、外觀で
鑑定のできるものも相當ありますよ
う)併しそれは極く専門的の検査官によると

必要的があるわけであります。又新らかに検定はできない。併しこの品種の苗木でも、品種といいうものの性格であるとか、これは非常に大切なことであるからして、これを困却することはできないんですけれども、ここに書いたあるような種苗検査ということの方法において、果してどれだけの效果的の處理ができるかということは非常に疑問であると思うのであります。政府はこの重要な、困難な問題をも、この方法によつてどういうふうに處理しようというお考えか。先ず一應そのことをお伺いしたい。

は何といいましても、その種苗を作つて賣る生産者或いは生産者團體、又は種苗業者といふ者それ自身が、自分らの計画と自らの責任でその原種から育成しまして、それを自分みずから、或いは農家にこれを渡しまして、種苗の生産をしておりますので、自分自身は可なりよく分るのであります。從いまして從来は需要者はその種苗業者の信用だけに頼つて種苗を求めておつたのですが、ありますけれども、從来でもないとは言われませんでしたが、最近のように非常に種苗の需給が逼迫しておるのにおきましては、多くの部分がさうよな信用のある取引が行なわれませぬで、品質にいたしましても、或いはその品種にいたしましても、極めてでたらめなものが横行して來ておるのであります。従つてこれに對しまして、一應すべて販賣種苗にはそこに規定しましたよな事項を表示させる。これは必ずしもよい悪いということの表示でありますんで、ありのままの表示をさせることを期待しておるのであります。先程お話になりましたように、例えば御質問によつて例を擧げられましたように、練馬大根といふよなことの表示をさせます。ただ「だいこん」という、いふ程度の表示であります。いろいろのものがありますけれども、その品種といふ程度までの表示を期待しております。勿論その中には或いは尾長の練馬大根でありますとか、或いは尻丸の練馬大根でありますと、いふよな程度、或いは更にその中に形まで現わすことがいろいろと要求されております。それが又品種の優良性をあ

決める重要なことになつておりますと、併しそういったことになりますと、表示する業者の中になかへこれを胡かにできない業者もありましょらし、又取締の場面におきましてもこれはなかなかこれを判別することは困難であります。そこで一應品種といふ程度までこれを表示させまして、その以下のものについては目下のところこれをネグレクトせざるを得ないのです。併し品種程度の表示によりまして可なりの効果があるものと期待しておるわけであります。尙この場合におきまして、ここに規定してありますように、特にあとの名稱登録をしたところの種苗につきましては、若しそれが系統まで登録されておるものでありますれば、系統名を現わすことになつておられます。でこれは特に登録権者が、或いは登録権者から許諾を受けたものだけが、育成販賣するのでありますから、これは當然限られたものでありますから、監督も十分に行き、又その證明も明らかにできるものと考えておるわけであります。従いましてこれはその多くの期待いたしませんけれども、最小限度の要求をしておるわけであります。又序でながらこの中でありますと、ころの生産地のごときは、例えば「たまねぎ」の種といたしますると、岡山縣の「たまねぎ」の種であるか、或いは北海道の「たまねぎ」の種であるか、又は新潟の「たまねぎ」の種といふような違いによりまして、同じ品種でありますても、實際上の種苗の效果が違つたために、さような表示をさせることになつております。又先程特に御質問のありました果樹の種類の如きは、その果樹の内容を見ただけではな

かなか種類品種といふものを判別することが困難なる場合は少なくあります。又事實上これをした場合におきましては、柑橘の苗のときは品種だけでは十分ではありませんで、その系統を現わすことが必要とされます。この場合におきましてはこの苗木検査といふものは事前に圃場検査を受けることを考えておりますし、又苗木を育成する場合において受けますところの穂木につきましても、これは穂木については苗木の育成地とか或いは果樹の生産地から移動するようなことがしば／＼ありますけれども、そういう場合におきましては穂木について、その穂木の取引の場合におきまして、この取締を行います。更にこれは週りまして「この穂木を探るところの母木、或いは母樹と言いますか、母樹の選定或いは指定」ということをいたしまして、どこぞこの母樹から穂木を探るというようなことを豫め指導いたしまして、検査官の連絡によりまして、その穂木がどういう母樹から、どそここの何號の母樹から採られたということも十分通絡いたしまして、この検査が行われるようにならなければならんと考えております。同時にこの検査につきましては、左様な苗木の産地には多年これまでの経験のあるする熟練した検査員がありますから、左様なものも鑑評いたして、誤りのないことを期して行きたいと考えておるわけでありまして、確かに仰しやるようこの蔬菜類の種苗といふようなものにつきましては、米麥等の種苗以上に困難性のあることは豫想されますけれども、先ずその程度の表示によりまして、從來被つておりましたところの栽培農家の損害を或

る程度まで防止することががきる。これによつてかなりな便宜が受けられるものと考えます。

更に序でながら、これは從來種苗業者といふものは、その取引の多くの過程では、保證を保證票というような名前で附けておりました。幾分この内容とは違ふ點もありますけれども、先ずこういつた程度のものは保證されておつたのでありますと、或いは末端において極くさきやかな種苗業者がこれだけの保證をして出すことができるかといふ問題がありますけれども、これに對しましては末端の最後の需要者が質うところの段階といふものは、何といましても極めて大事でありますから、これ缺がすことができないでありますから、左様な場合に左様な小さな種苗業者は大きな種苗業者が保證をつけた種を仕入れて貰る、いわゆる袋詰の種の仕入販賣をすれば、大きな種苗業者の責任によつて保證された種が末端でも貰うことができるといふことを考えておりまして、左様な方面につきましては今後十分指導して参りたいと考えます。

○寺尾博君 今の御答辯でもまだその點だけでも私十分に了解いたし兼ねるのでありますから、まだ技術的にお伺いしなければならんことは多々ありますので、尙詳しいことは次回の時まで保留して置きます。だだ一つこの場合お伺いして置きたいのは、種苗検査所といふものができて種苗検査をやる。そうすると、ここに何か、つまり種苗検査をやるということは種苗に歸するるものと考えます。

取締をする、こういう意味に解されるかと思います。自然この種苗検査所なり種苗検査事業といふものに伴つて、種苗取締規則とでもいふものが想像されるわけであります。この検査した結果、例えば芽芽歩合の悪かつた種があつたら、これはどうするのか。この種苗業者に對してどういう處置を講ずるのか、又品種が不正確であつたりなんかしたら、この検査をした結果その種苗業者に對してどういう處置をするのが、ただ検査して、こういう成績であったということをただ告示するとかなんとかいろいろだけで、別に罰則も何もないというのか、そういう取締規定というものとのこの検査所なり検査事業といふものがあつて、初めてこの必要性なりその效果なりが分ると思うのです。これではただ経費の關係のことだけで、一向分らんと思う。その點の御説明を願います。

○寺尾博君 重ねて今點についてお伺いしたいのですが、その程度のことでは、ここに考えられておるところの種苗検査の必要性がどこにあるのか、何ら大した效能がないのじないかといふ感を私は頗る深くするのですが、これが我々に、成る程政府はこの時期において結構な實際的の價値のあることかりしたことやつて下さるという、納得のできるような十分なる御説明を重ねてお願いいたします。

○説明員(村田鶴郎君) 勿論故意に悪質を以て保證票を曲げて出すという場合は、これは當然罰則適用で行がななければならんわけでありますから、問題じやなくして、サンブルの取り方等で違つておつたといふような場合は、やはり最初のときでありますから、その種苗の販賣を停止はいたしますが、その停止されたものを、更に保證票を訂正しまして、そして正しい表示をいたしましたならば、これは販賣するというふうに持つて行つていよいよふうに考えておるわけであります。

○岩木哲夫君 一、「お尋ねいたしました」のですが、この種苗についての價格は、自由價格でありますか、統制でありますのか、検査の性格、基準等に準據として、おのずから價格の統制といふことを考えられておるのかどうかといふことをお伺いいたしたいのと、若し自由であった場合の検査の性格、基準と違うものと、統制をするといふ場合については、今御専門家の御質問があつたようですが、私もこの検査の性格について

といいますか、基準といいますか、こ
ういつたものにどうも合點の行かない
ものがあるのですが、地方によつて、
多収穫性のものであるとか、或いは美
味、或いは形の相違、その他特異性を
持つた種苗等におきます各府縣まちま
ちの、それらの地方に適した種苗の
對しまして、この價格というものを關
聯いたしまして、検査の基準の統一性
といふものは、各縣ばら／＼の検査官
に一任するのか、統一性を持つのか、
その點の關聯性が明確でない。

それからもう一つは、その検査とい
うものは、合格 不合格にするのか、
或いは一級、二級、三級というような
等級制にするのか。只今種馬大根のお
詣が出来ましたが、「だいこん」におきま
じても、長手の「だいこん」であつたな
らば二級であるとか、丸いのであつたな
らば一級であるとか、丸いのが非常に
明確でない。それから自家菜園とい
うものが現在食糧増産の上において都鄙
を通じて全面的に、政府も獎勵されて
おるし、又我々も大いに努力しておる
わけですが、そういうたよりな自家菜園
國を進めておる素人に向つて、果して
検査によつて素人にも便益を與え得る
という趣旨がありますか、この點に對
しましての検査の性格が明確でないか
ら、非常にこれの實行上におきまして
は疑念を持つ。それから種苗業者の認
可標準といいますか、認可の資格とい
うものは、どのよくなものを以て認可
標準の資格としますか。それからどう
いつた検査制度、取締法規を行うこと
によつて、さなきだに少ない種苗が一
層生産が減退する虞れがあるのでな
いかといふ感を深くするのですが、こ

りましたところの栽培農家の損害を或検査をやると「どう」とは種苗に關する

うであります、私がこの検査の性格

かと、お尋ねする所ですが、

れに対する御見解を伺いたいと思いま
す。

○説明員(村田彌郎君) 最初の御質問の種苗についての統制の問題であります。が、これは戦時中日本種苗配給統制組合というものによつて全國統制をやつておつたのであります。アソ・トラストの關係から解散を命ぜられて、現在においては種苗の性質から考えまして、これを全國的な統制をするというような點は非常に困難であるということ、それから尙最近の事情といたしましては、種苗の供給面につきましても、戰時中のような窮屈な點は解消しつつあるといふ點から、種苗の統制を廢止しておるわけであります。従いまして、價格につきまして、全く自由のものとなつておるわけであります。

それから第二の問題の検査の規格でありまするが、これは米麥等の検査で違いますて、米麥等におきましては、合格、不合格、或いは一級、二級といふような等級のあれがあるわけであります、この方は、この法文にあります通りの項目について、販賣する者がその表示を付けまして、その表示に合つておるかどうかということを検査するのでありますて、その表示に違つておるものはすべて不合格になつて、販賣を停止されるわけであります。その表示に合つておるものは、全部そのまま間違いないということになるわけであります。従いまして、最近の都市における自家菜園の問題等につきましては、この保證票というものが付いておりますために、大體どういう「だいこん」であつても、いつ頃獲れた種子で

あるとか、或いはどこの産であるとかいうようなことが、素人にもその袋に書いてあることによって分かるわけでありまして、自家菜園として使う場合には非常に便利になるのだろうということを考えております。

それから尚これによつて需要の面に
おいて支障を來しはしないかという問
題でありまするが、最近の種苗の生産
から優良な品種を作るにしうるなことを
考えておらないかどうか、この二點
について伺いたい。

等の状況を見ておられますと、「たまねぎ」等の感覚を持つては、まだ非常に窮屈な需給関係になつておるものもありますが、大體種苗全體として見ますると、相當餘剰のものも出て来ておるというようなことになつておりますし、種苗全體としての需給のバランスは、戦時中のような窮屈さから脱却いたしまして、大分餘裕が出来つつあるわけであります。この點は、この農産種苗法が出ましたから、生産が収束して、需給のバランスが破綻するというような心配はまずなからうと考えておる次第であります。

ビートのよくな、獨占的な會社で、配給で今までやつておるのですが、これは相當優良な種子を保持するためには、保護から進んで補助を出す必要があると考へられるのです。北海道などは從來拓殖計畫を立てるときにおいて、これが補助金を出してやつておったのであります。が、今回内務省關係から離れて、この補助金がなくなりました。そこで農林省所管になつて今度この種苗法というものが出てのですが、それらについて何か考えたことがなかつたか。それからもう一つは「はつか」などですが、例えばミツチャムとかいろいろな種類があるのですが、

これらは現に組合で餘所へ出さないと
いうような内規でやつております。こ
れは今後輸出の再開において重要なも
のでありますために、そういうものを
普及、或いは育成するためには、政府に
おいてこれらのことに対する対して、みすか
ら優良な品種を作るというようなこと
を考えておらないかどうか、この二點
について伺いたい。

○説明員(村田耕郎君) 最初の御質問
の補助の問題でござりますが、先程も
ちよつと申上げましたように政府とし
て現在持つております豫算の中では蔬
菜の原種圃に關する補助金、これは各
都道府縣を通じて流すのでありますし
て、それを都道府縣が、更に都道府縣
の農事試験場でやる、或は外のものに
委託する、こういふことは、その都道
府縣の計畫に委しておるわけであります
が、それによつて、優良な種苗の生
産を増加して行きたい、こういふよう
に考えておるわけであります。尙今後
ともそういう豫算はできるだけ多くし
たいと思って、努力はいたしておるわ
けであります。それから尙「はつか」の
例をとつて御質問がございました。
「はつか」につきましても、北海道に
「はつか」の農事改良實驗所を設けまし
て、そつとして品種改良及び栽培法の改
善といふ方の仕事を北見支場において
やつて頂いておるわけであります。そ
ういう方面におしましても、できるだ
けの努力を今後ともいたして行きたい
と思つております。

○羽生三七君 先程抜取検査のお話が
ございましたが、例えば昨年度、自分
で、私種を播いて、一つも發芽しない
ような種を貰つておるのでですが、この
種の努力を今後ともいたして行きたい
と思つております。

いうことは、非常に結構だと思つてお
りますが、この場合種類によつては、
發芽しない場合に時期を失してしまつ
て、その年には遂に播付ができるないで
いるようなことが起るところがありま
す。先程申しました不意の抜取検査を
やりました、それは數が少いので、
検査を受ける品種には非常な良い物を
出しておいて、後は他から播き集めて
來た種を市販に廻わすというような
とも行われると思いますので、私は今
後日本が農産物、或いはその加工品など
を海外へ輸出する等においても、青
色のある立場をとるために、發芽その
他の結果等については、個人なんどな
く面倒でありますけれども、その市町村
の今の農業會、又新らしくは協同組
合なんかできるようでありますから、そ
ういうところなり、市町村のそぞろに
技術關係の人がら中央に向つて私は適
當な報告をさせるようなことも併せて
考えられたら非常にいいのじやないも
うと思います。それが一つ。

○説明員(村田朔郎君) 今、御注意全部専尤もなことであります。そういうふうに我々としてもできるだけの力を拂つて行きたいと思います。

○岡村文四郎君 この法律は非常に事な法律だと思っておりますが、非常に物足らなくて、何度考えてもひん來ない。それで物足らんといふことは、御承知のように、蔬菜の種苗は常にこまかし易いものです。そこで所の方で一生懸命やつて貰つても、にどうもこまかし易いので、業者がまさかそこに一生懸命ですから、これは完全を期せられない。何からま方法がないかと思つておるのですが、どうもないのです。検査は結構ですが、抜取検査で萬全を期せられない。ということは、當局御自身も御承知のままであるが、一體種苗といふのは立派な證票が附しておつて、發芽一〇〇%で品質が良くて、値段が安ければどんなものなんですが、ところが、そう行かずに行くものですから、今までつてきて、戰争の最中でも困つてきのですが、私は立派な業者、立派な體で今種苗を何とかしようといふで、頻りにやつておられるが、ここに来ておられる町村先生も北海道で盛んに種苗の審策をやつておられる。北海道でそつちの方に頭を突入で、頻りにやつておられるが、こうう方をうんと活用して、立派なものと來るものがないですか。どうもそれはさっぱりひんと來ない。何かが舉りはせんかと考えておるのですが、政府の方で、何とか、もう一つとびりなくて、どうも分らない。こんな

説明員

(農林事務官)

村田 勝郎君

(特産課長)

農林技官 加藤 要君

八月二十一日本委員會に左の事件を付託された。

一、農産種苗法案(第二十四號)

農産種苗法案

農産種苗法

第一條 この法律において、種苗とは、農作物の繁殖の用に供される

種子、果實、茎、根、母本、苗、苗木、樹木又はだい木で農林大臣の指定するものをいふ。

第二條 種苗業者は、その營業所において、種苗業者とは、種苗の販賣を業とする者ない

在地の市町村長に届け出なければならない。

第三條 種苗業者は、その營業所において取り扱う

二、當該營業所

種苗の種類

四、前號の種苗の取引に関する帳簿の保管場所

五、その他命令で定める事項

前項の事項中に變更を生じたときも、また同項と同様とする。

前二項の規定による届出は、あ

らたに營業を開始した場合にあつてはその開始後二週間以内に、第

一項の事項中に變更を生じた場合にあつてはその變更を生じた後二

週間以内にこれをしなければなら

第一項及び第二項の規定による届出があったときは、市町村長は、農林大臣にこれを報告しなければならない。

第三條 種苗は、その包装に左の事項を表示したもの又は左の事項を表示したもの又は左の事項を示さなければならぬ。

表示する證票を添附したものでなければ、これを販賣してはならない。

但し、掲示その他の容易に了知出来る方法を以てその種苗につ

いて、第一號乃至第六號の事項を表

示する場合及び種苗業者以外の者

が販賣する場合は、この限りでな

い。

一、表令をした種苗業者の氏名又

は名稱及び營業所

二、種苗の種類(接木した苗木に

あつてはだい木の種類を含む。)及び品種(第七條の規定によ

るる登録のあつた種苗について

は、その名稱)

三、種苗の生産地

四、種苗たる種子及び果實につい

ては、採種の年月(外國産のも

のにあつては、有效期限)

五、種苗たる種子及び果實につい

ては、發芽率

六、農林大臣の指定する病害蟲の有無

七、數量

前項の事項の表示は、國

内産のものにあつては當該生産地

の屬する市町村名を以て、外國產

ものにあつては當該生産地の屬す

る國名を以てこれをしなければな

らない。

第四條 農林大臣は當該官吏に、

種苗業者がら検査のために必要な數

量の種苗を採取させることができ

る。但し、時價によつてその對價

を支拂わなければならない。

前項の場合において、種苗業者

の要求があつたときは、當該官吏

は、その身分を示す證票を示さな

ければならぬ。

第五條 農林大臣は、種苗の検査の

結果必要があると認めるときは、

種苗業者に對し、その業務に關し

必要な報告を命じ、又は帳簿との

他の書類の提出を命ずることがで

きる。

第六條 農林大臣は、第三條の規定

に違反した種苗業者に對し、同條

の規定による表示の變更を命じ、

又はその違反行為に係る種苗の販

賣を禁止することができる。

第七條 優秀な新品種又は新系統の

規定期による表示の變更を命じ、

又はその違反行為に係る種苗の販

賣を禁止することができる。

第八條 前條の規定による登録を受

ける種苗の名稱は、同一の品種又

は系統の種苗につき一名稱とし、

他の品種又は系統の種品に關し使

用されている名稱又は種苗若しく

はこれに類似の商品に係る登録商

標若しくは失効の日から一年を経

過しない商標と同一又は類似のも

のであつてはならない。

第九條 農林大臣は、第七條の規定

による登録の出願を受けたとき

は、種苗審査委員會の審査に付す

る。

前項の場合において種苗審査委

員會が當該出願に係る種苗が優秀

な新品種又は新系統のものである

と決定したときは、農林大臣は、

當該種苗の名稱を種苗登録簿に登

録し、出願者に種苗名稱登録證を

交付し、且つ、その旨を公示しな

ければならない。

第十條 第七條の規定による登録を

受けた者及びその一般承継人以外

の者は、當該登録に係る種苗の名

稱を使用して、業として當該種苗

を販賣してはならない。但し、左

の場合は、この限りでない。

一、種苗業者が當該登録を受けた

者又はその一般承継人の許諾を

得て當該登録に係る種苗を販賣

する場合

二、當該登録に係る種苗と同一の

品種又は系統のものを當該登録

を受けた者よりも先に育成した

者が當該種苗を販賣する場合

三、當該登録に係る種苗と同一の

品種又は系統のものを育成する

方法についての特許権を有する

者又はその特許につき實施権を

有する者が當該特許に係る方法

により生産した種苗を販賣する

場合

第七條の規定による登録を受けた者又はその一般承継人は、前

項の規定に違反して當該登録に

係る名稱を使用している者に對

し、その使用を止めるべきこと

を請求することができる。但し、

損害賠償を請求することを妨げ

ない。

第十一條 左の場合には、農林大臣

は、當該登録に係る種苗の販賣の

停止を命じ、又は種苗審査委員會

の審査を經て當該登録を取り消す

ことができる。

一、第七條の規定による登録を受

けた者

の役員又は國若しくは公共團體の公

務員がその勤務に關する優秀な性質

又は新系統の種苗を育成した場合

において、その育成がその性質

上その使用者、法人又は國若しく

は公共團體の業務の範囲に屬し、

且つ、その育成をするに至つた行

爲が被拂者、法人の業務を執行す

けばならない。

九

昭和二十二年十月二十一日印刷

昭和二十二年十月二十三日發行

參議院事務局

印刷者 印刷局
C.I.K.J.